

事業所向けセキュリティサービス

最新の技術と独自のノウハウを活用し、セキュリティシステムの開発を推進しています。





セコム・コントロールセンター

従来のセキュリティシステムの概念を一新する次世代型オンライン・セキュリティシステムを開発

これまでのセキュリティシステムは、時間帯や必要性に応じて、警戒区域に設置されたシステムをセットまたは解除するという操作が必要でした。警戒が解除されるのは、企業であれば営業時間内、ご家庭であれば在宅の場合がほとんどです。しかし、近年では有人時であっても建物への侵入犯罪が発生しており、常時セキュリティシステムをセットする必要が出てきました。そこで、セキュリティ機器のセット・解除の操作を不要とし、しかも警戒態勢が空白になる時間帯をつくらないといった、これまでのセキュリティシステムの概念を打ち破るシステムとして開発されたのが次世代型オンライン・セキュリティシステムです。

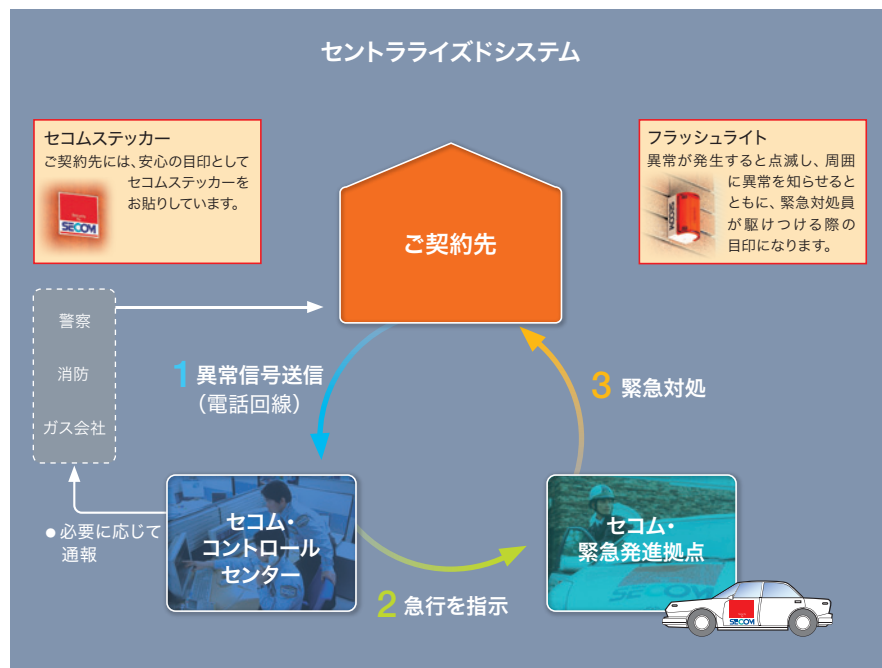
次世代型オンライン・セキュリティシステムは、オンライン画像監視システム「セコムAX」で培った画像認識技術をはじめ、レーザービームを使って監視範囲を自動更新できる屋外監視システム「レーザーセンサー」で培ったセンシング技術、ICタグを使った出入管理システム「セコムアクティブICタグシステム」で培ったセンシング技術や個人認証、さらにオンライン・セキュリティシステムの遠隔画像監視のオペレーションノウハウを結集させた、屋外監視を中心とした新しいセキュリティシステムです。

その仕組みは、企業やご家庭などの建物の外周に、センサーとカメラが一体となった屋外画像センサーを設置します。そして、建物の中に入る資格を持つ社員やご家族は、入退室認証用のICタグを持ちます。外周の屋外画像センサーは、24時間敷地内への侵入を監視しま

す。そこにICタグを持った社員やご家族が通過すると、屋外画像センサーがICタグの情報を認識して、建物内へ入ることができます。しかし、ICタグを持っていない人が通過しようとする、屋外画像センサーが異常と判断して、コントロールセンターへ異常信号と屋外画像センサーで撮影された画像を送信します。これにより、これまでは有人時・無人時など、必要に応じて行っていたセキュリティシステムのセット・解除といった操作が不要となり、24時間建物を警戒状態にすることができます。

次世代型オンライン・セキュリティシステムは、主に倉庫や工場、研究所、ダム、発電所、福祉施設、戸建て住宅など、建物への入退室資格者がある程度限定されている場所のセキュリティ対策に適しています。これまでのセキュリティシステムの概念を一新したこのシステム

事業所向けセキュリティサービス



24 時間常時監視を可能にした次世代型オンライン・セキュリティシステム

は、今後のセキュリティのあり方を変えるものと考えています。

監視カメラ画像をセコムがお預かりする次世代型監視カメラシステムを開発

これまでの監視カメラシステムは、お客様の店舗やオフィス内に監視カメラと画像を記録する画像録画装置 (HDD : ハードディスクドライブ) を設置するのが一般的でした。しかし、監視カメラシステムの導入が増えるとともに、電源の入れ忘れや録画設定の間違いなどで、画像が記録されていなかったり、有寿命部品であるHDDの定期交換に手間がかかるなどの課題が出てきました。そこで、録画画像をセコムの「セキュアデータセンター」でお預かりすることで、HDDの設置を不要としたのが、次世代型監視カメラシステムです。この監視カメラシステム

を利用すれば、画像記録装置の盗難や不正な画策の心配がなくなり、安全度を向上させることができます。さらに、HDDが不要になることから、省スペース化も図れます。

また、お客様のもとにHDDを設置していただく場合は、スマートフォンなどで“いつでも、どこでも”監視カメラの画像をリアルタイムで確認することができます。この監視カメラシステムは、複数の店舗を持つオーナーや多くの店舗を統括する責任者の方々に、これまで以上に高い安全性と安心感、利便性を提供します。

セコム独自の高度なセキュリティネットワークを活用した次世代型監視カメラシステムは、セコムのセキュリティと情報セキュリティのノウハウを駆使した、セコムならではのシステムです。セコムは、今後も監視カメラシステムの多様な

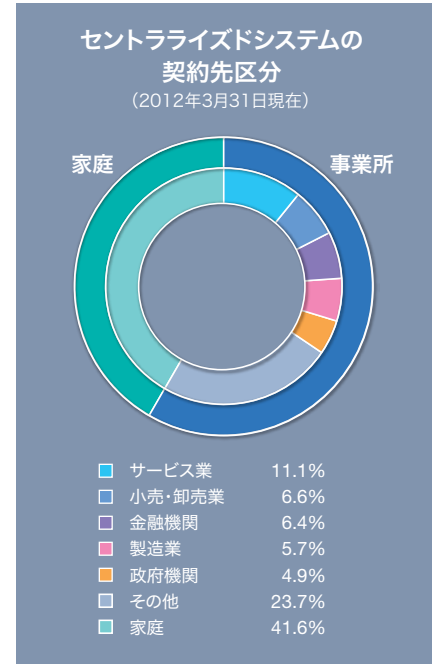
ニーズの高まりと通信インフラの変化を的確に捉えて、需要が拡大する監視カメラシステムのさらなる普及に努めていきます。

立体画像を使った「ウォークスルー顔認証システム」を開発

近年、個人情報の漏えいが頻発していることから、生体認証に対するニーズが高まっています。セコムは、セキュリティ用の生体認証システムの先駆けとなった日本初の指紋照合システム「セサモID」を開発以来、生体認証システムの中でも顔認証システムの研究に力を入れてきました。顔認証の課題は、認証するときに専用のカメラに向かって顔の正面を向けるか、静止しなければならないことでした。そこで、IS研究所では、特別な動作を必要とせず、自然に歩いている状態でも顔認証ができるシステムの研究



最先端技術を駆使した「ウォークスルー顔認証システム」



に取り組みました。そして、「セサモID」や「セコムAX」、顔検知機能付インターホン「セキュリフェースインターホン」などで培ったセコム独自の画像処理技術を駆使して開発に成功したのが「ウォークスルー顔認証システム」です。

このシステムの特長は、事前に登録された1枚の顔写真から立体的な顔の形状を推定することにより、これまでの顔認証システムでは難しかった体や顔の向きの変化に対応できることです。また、カメラの前で停止することなく、歩きながらでの認証も可能です。そして、毎分60人の歩行者を認証できるため、出退勤時間などに人が集中する場所でも、通行量を制限せずに認証することができます。顔認証システムは、生体認証の中でもハンズフリーなので操作性がよく、出入管理システムや防犯システムとして有効です。

セコムは、これからも高度で多様なセキュリティニーズに対して、より使いやすく、信頼性の高いシステムの研究開発、商品化に取り組んでいきます。

進化を続ける「セコム・ホームセキュリティ」を中心に、
より「安全・安心」で便利で快適な暮らしをサポートしています。



これまでのホームセキュリティの概念 を変えた「セコム・ホームセキュリティ G-カスタム」を発売

1981年にセコムが販売を開始した家庭向けオンライン・セキュリティシステムは、社会や暮らしの変化、犯罪の動向などを先読みしながら進化を遂げてきました。「セコム・ホームセキュリティ」の仕組みは、住宅に設置したセンサーなどのセキュリティ機器が侵入・火災・ガス漏れ・非常通報・緊急通報を24時間365日監視し、センサーが異常を感知すると、異常信号をセコム・コントロールセンターへ送信します。セコム・コントロールセンターでは、管制員が状況を確認

して、緊急対処員に指示を出し、必要に応じて警察や消防へ通報します。

このホームセキュリティに防犯・防災だけではなく、暮らしに役立つさまざまな便利な機能を付加して、これまでのホームセキュリティの概念を変えたのが「セコム・ホームセキュリティ G-カスタム」です。この仕組みは、東日本大震災で被災された方々の「大切な家族の写真が流された」、「自分がどんな薬を服用していたのか分からない」などのお困りの声に対して、セコムができることはないかと考えて開発しました。例えば、「データお預かり機能」は、大切な写真、ご家族や親戚などの電話番号、ホームコントローラー内

蔵のカメラなどで撮影した健康保険証、運転免許証、服用中の薬の情報などを、セコムの「セキュアデータセンター」でお預かりします。「マイページ機能」は、セコムと提携した企業から提供される生活に役立つさまざまな情報を、ホームコントローラーに表示します。「データ共有機能」は、「セコム・ホームセキュリティ G-カスタム」を導入しているご家庭の家族同士で写真や伝言などを共有できるサービスです。このほかにも、ご家族の伝言をホームコントローラーに記録・表示でき、伝言が確認されると登録されているEメールアドレスにお知らせする「伝言メモ機能」、セコムグループが提供し



「セコム・ホームセキュリティ G-カスタム」
タッチパネルで簡単に操作ができる



「セコム高齢者見守りサービス」

ているさまざまなサービスの申し込みや手続きがホームコントローラーでできる「ALL SECOM機能」などがあります。

セコムは、お客様により高品質な「安全・安心」とともに、便利で快適な生活を提供するため、「セコム・ホームセキュリティ G-カスタム」の普及に邁進していきます。

セキュリティ・生活支援・メディカルが一体となった

「セコム高齢者見守りサービス」

「セコム高齢者見守りサービス」が生まれたのは、日本の商社から、「海外駐在員の一番の不安が日本に残してきた一

人暮らしの高齢者のご家族の生活や健康状態なので、セコムで何かできないか」というご相談があったことがきっかけでした。そこで、お客様のご要望に応えるために、セキュリティ、「セコム・ホームサービス」、メディカルのサービスを組み合わせて実現したのが、「セコム高齢者見守りサービス」です。

サービスの内容としては、セキュリティサービスは救急通報をメインとし、生活支援は「セコム・ホームサービス」のスタッフがご家族の自宅を訪問して簡単な家事代行を行います。そして、メディカルサービスはセコムのナースセンターがご家族の様子を電話で確認して、報告し

ます。これにより、一人暮らしの高齢者のご家族や要支援・要介護の認定を受けているご家族の安心な暮らしをサポートします。「セコム高齢者見守りサービス」は、海外駐在員が多い企業だけではなく、高齢者のご家族と遠く離れて暮らしている社員の多い企業などでも利用できます。核家族化や高齢化が進む中、今後「セコム高齢者見守りサービス」のニーズが高まると考えられるため、セコムは多くの方々にこのサービスをご紹介します。

家庭向けセキュリティサービス



小規模集合住宅向けセキュリティシステム
「セコム AS」



「セコム・ホームセキュリティ」ではセコムの看護師による健康相談も提供



万一のときに駆けつけるセコムの緊急対処員

需要が増加する

集合住宅向けセキュリティシステム

これまで、アパートや賃貸マンションなどの小規模集合住宅では、各戸にセキュリティシステムを導入している世帯は多くありませんでした。しかし、一人暮らしや高齢者のみの世帯が急増し、小規模集合住宅でも防犯・防火を中心としたセキュリティニーズが高まっていることから、セコムでは30戸までの小規模集合住宅向けのセキュリティシステム「セコムAS」を発売しました。「セコムAS」を導入することにより、集合住宅の入居者は大きな安心感が得られます。一方で、オーナーは「セコムが守る安心な住まい」をアピールすることにより、他の集

合住宅との差異化が図れます。オーナーにとって、入居者募集と安定経営の面でメリットが大きいことから、「セコムAS」を導入するケースが増加しています。

また、セコムでは、大手住宅メーカーの賃貸住宅に特化した「セコム・セキュリティR」も提供しています。大手住宅メーカーでは、「セコム・セキュリティR」を各戸に標準装備し、「防犯配慮型賃貸住宅」をアピールすることで、若い女性などの入居者の獲得に成果を上げています。集合住宅向けセキュリティシステムは、着実に需要が増加しており、セコムは今後も営業を強化して普及に取り組んでいきます。

「セコムAEDパッケージサービス」と「セコムAEDオンライン管理サービス」の導入を、積極的に提案。

「ココセコム」は、多様な用途に幅広く利用されています。



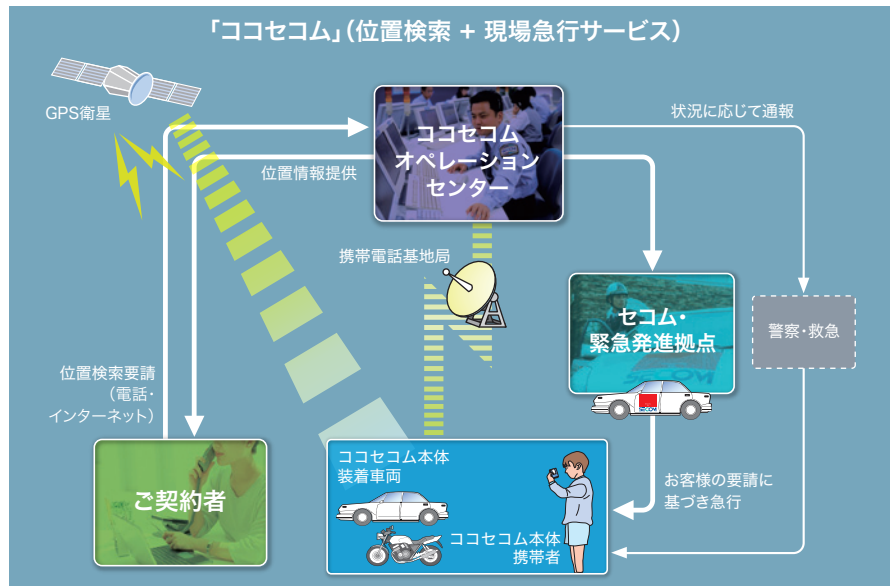
「mamorino2」



「セコムAEDパッケージサービス」



「ココセコム」



一人でも多くの命を救うために「セコムAEDパッケージサービス」を提案

セコムでは、AED機器一式をレンタルで提供する「セコムAEDパッケージサービス」を販売しています。レンタル方式にしているのは、セコムが責任を持ってバッテリーなどの消耗品を提供し、故障や盗難にあったときには代替機器を提供することで、いざというとき確実にAEDを使うようにするためです。

一方で、AEDの普及に伴い、いざというとき使えないという事態が懸念されるようになり、2009年には、厚生労働省から設置者にAEDの日常点検や消耗品を期限前に交換することなどを求める通達が出されました。そこでセコムは、オンラインで24時間AEDの状態を管理する、「セコムAEDオンライン管理サービス」を発売しました。

セコムは一人でも多くの命を救うため、さまざまなお客様にAEDと管理サービスの導入を積極的に提案しています。

個人を対象にした「ココセコム」を拡販

セコムが2001年に発売した屋外用携帯緊急通報システム「ココセコム」は、GPS(全地球測位システム)衛星と携帯電話基地局の電波を利用して、携帯端末の位置を高精度に突き止めます。また、身の危険を感じ、「ココセコム」の通報ボタンを押すと、ココセコムオペレーションセンターに緊急通報され、お客様から要請があれば24時間365日、緊急対応員が駆けつけます。

「ココセコム」は当初、子どもの連れ去りや高齢者の徘徊、自動車やオートバイの盗難対策として普及しました。現在では、バッグや建設機械、ATM(現金自動

預け払い機)、金庫などの盗難対策、タクシーやバスの運行管理などに、幅広く利用されています。

また、「ココセコム」を標準装備した、園児から小学校低学年の「安全・安心」を守る防犯ツールが、「mamorino(マモリーノ)」です。

さらに「mamorino2」は、電源を切っても防犯ブザーや位置検索を利用できる機能や、お子様の移動した軌跡を保護者が確認できる機能を付加したものです。

セコムは、今後も多様な用途に利用できる「ココセコム」を拡販していきます。

海外でのセキュリティサービス



セコムは、19の国と地域で海外事業を展開。
セキュリティサービス事業では、11の国と地域で高品質な
サービスを提供し、成長を続けています。

需要が拡大する海外のセキュリティサービス事業

セコムの海外進出先は、セキュリティサービス事業に防災サービス事業と地理情報サービス事業を合わせると、19の国と地域に及びます。セコムは、1978年に台湾へ進出したのを皮切りに、韓国、中国、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、ベトナム、英国、オーストラリア、ニュージーランドの11の国と地域で、セキュリティサービス事業を展開しています。

海外におけるセコムのセキュリティサービス事業の特長は、緊急対処サービス付オンライン・セキュリティシステムを進出先の国や地域の状況に合わせてカスタマイズして、セキュリティサービスを提供しているところにあります。欧米のオンライン・セキュリティシステムでは、機器の販売、設置、監視をそれぞれ異なる

会社が提供するのが一般的であるのに対して、この「セコム方式」のセキュリティシステムは、セコムが一貫してサービスを提供しているため、「安全・安心」のレベルが高いと評価され、着実に需要が拡大しています。

英国のセコムPLCがメガバンク2行にセキュリティサービスを提供

英国では、現在、商業施設や公的機関、ご家庭を中心に「セコム方式」のセキュリティシステムを提供し、セコムPLCは英国第3位のセキュリティ会社となっています。

セコムPLCは、2011年4月に、英国の四大メガバンクのひとつから、セキュリティサービスの契約を受注しました。また、6月には英国のセキュリティ会社を買収したことにより、そのお客様である別の四大メガバンクの多くの店舗へもセキュ

リティサービスを提供することになりました。このことは、同国に進出以来、地道に続けてきた「セコム方式」のセキュリティシステムの実績が、セキュリティに厳しいメガバンクからも評価された証しであると考えています。セコムPLCは、金融機関向けセキュリティをより強化したことで、今後のさらなる成長が期待できます。

中国ではお客様の多様なご要望に応える体制を強化

セコムは中国の成長力に注目し、1992年からオンライン・セキュリティシステムを主とするセキュリティ事業全般を展開してきました。当初は、経済成長が著しい沿岸部の大都市で事業を始めましたが、近年は内陸部の都市にも積極的に進出しています。現在は、北京、天津、大連、瀋陽、青島、上海、蘇州、無錫、昆山、杭州、寧波、福州、廈門、深圳、広州、



セコムPLC(英国)のコントロールセンター



北京京盾セコムエレクトロニックセキュリティのコントロールセンター

東莞、成都、西安の18都市でセキュリティサービスを提供し、民間のセキュリティ会社では中国最大規模のセキュリティネットワークを持つまでに成長しています。

中国では、安全に対する意識の高まりから、質の高いセキュリティサービスが求められています。その中で、「セコム方式」のセキュリティシステムは高く評価されており、契約件数が順調に伸びています。また、上海に機器の製造拠点を開設し、中国のセキュリティニーズに合わせた機器の調達などを行うことで、中国各地のお客様のさまざまなご要望にお応えしています。セコムは、今後も多様化する中国のお客様のニーズにきめ細かく応える体制を強化し、より高品質なサービスを提供することで、中国での一層の成長をめざします。

進出先の国と地域で事業が好調

1978年に最初に進出した台湾では、合併会社の中興保全股份有限公司が

第1位のセキュリティ会社に成長し、台湾の証券取引所に株式を上場しています。中興保全は、セコムと同様に、ホームセキュリティから大型施設の安全管理システムまで、幅広いサービスを提供し、着実に契約件数を増加させています。

韓国では、合併会社のエスワンがトップシェアのセキュリティ会社となり、韓国の証券取引所に株式を上場しています。韓国はセキュリティに加入することが「セコムする」と言われるほど、「セコム方式」によるセキュリティサービスが浸透しており、エスワンはその実績とブランド力で、順調に契約件数を増加させています。

1987年にアセアン地域で最初に進出したタイでは、タイセコムピタキがタイの経済発展とともに躍進しています。マレーシアでは、オンライン・セキュリティシステムのほかに、常駐警備とセキュリティ機器を組み合わせたオーダーメイドのセキュリティシステムの提案などを行うことにより、事業を拡大しています。シンガ

ポールでは、オンライン・セキュリティシステム、常駐警備、防災システムを中心に成長し続けています。インドネシアでは、経済成長に伴い競争も激化する中、マーケットリーダーとして国内外の主要金融機関からも厚い信頼を得ています。ベトナムでは、経済発展に伴って、今後普及が本格化すると期待されます。

オーストラリアでは、四大銀行系列で同国最大級の資産運用会社が所有するビルの常駐警備とパトロール契約を取得して以来、大手企業や官公庁など多岐にわたるご契約先から高い評価を得ています。ニュージーランドでは、セコムが得意とするオンライン・セキュリティシステムに保守点検サービスや常駐警備サービスなどを融合し、新たな需要を開拓しています。

防災システムを一貫して提供する体制のもとに、
高品質な防災システムを提供しています。



トンネルの水噴霧設備



火災実験

総合的な防災システムを日本だけでなく海外にも提供

能美防災は、高いシェアを占めるトンネル・プラント・船舶や、オフィスビル・文化財・住宅などのさまざまな施設に自動火災報知設備や消火設備などの防災システムを提供している、業界トップの総合防災専門会社です。能美防災の強みは、防災システムの研究開発から企画、製造、設計、施工、メンテナンスまでを一貫して提供する体制にあります。これにより、高品質な防災システムを実現し、お客様から厚い信頼をいただいています。

能美防災は、これまで蓄積してきた高い技術力とノウハウを生かして、新たなニーズに応えるシステムを開発、提供してきました。例えば、火災の予兆を監視して損害を最小限に抑える火災予兆検知システム「PROTECVIEW」、特定施設水道連結型スプリンクラー設備(乾式)の「グループホームスプリンクラー」、スプ

リンクラーの技術を応用して周辺の気温を低くする「ドライミスト」などが好評をいただいています。また、オフィスビルの老朽化に伴う火災報知設備の更新需要に応え、豊富な施工実績と長年培ってきたお客様との信頼関係を生かして、受注の拡大に努めています。

その一方で、災害から生命や財産を守るための最新で最適な防災システムを、海外にも提供しています。中国では、生産・営業体制を整え、上海や北京などの主要施設に防災システムを導入しています。東南アジアでも、空港施設で導入されるなど、着実に実績を積み重ねています。成長著しいインドでは、首都デリー市の地下鉄やインド南部のハイデラバード空港の消火設備を受注するなど、インフラ整備に貢献しています。

また、2012年4月に消防用設備全般の工事施工、機器販売および保守点検業務を行う防災業界大手のニッタンがグ

ループ入りしたことで、能美防災とニッタンの強みを生かした防災サービスを提供するとともに、大規模災害に対応できる次世代防災システムを開発していきます。

トンネルの防災システムで交通網の発展に貢献

日本で初めてトンネルの防災システムが本格的に導入されたのは、1958年に開通した関門トンネルです。このトンネルに防災システムを納入したのが、能美防災でした。それ以来、数多くのトンネルに防災システムを提供し、この分野ではトップシェアを占めています。主な実績としては、道路用トンネルでは恵那山トンネルや新神戸トンネルなどの長大トンネルをはじめ、首都高速中央環状線山手トンネル、新東名高速道路などに、鉄道用トンネルでは、青函トンネルや北陸トンネルなどに高度な防災システムを納入しています。

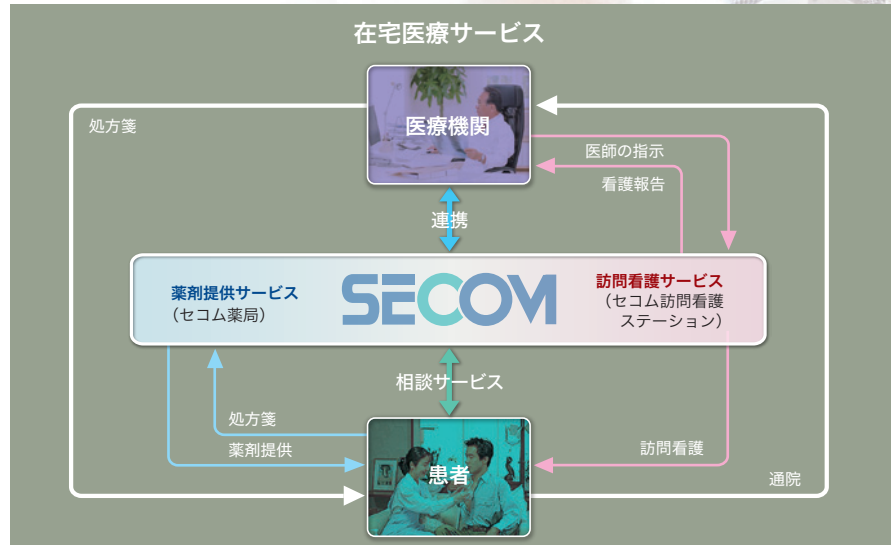
「在宅医療サービス」・「病院運営支援」を中心に、
セコムだからこそ可能な「安全・安心」を提供しています。



セコム薬局内のクリーンルーム



上海に建てられるシニアレジデンス「金色阳光」完成イメージ



ニーズの高まりに対応して 「在宅医療サービス」を強化

セコムがメディカルサービス事業を始めたのは、究極の「安全・安心」が、人の健康や命を守ることであると考えたからです。その大きな柱となっている事業に、「在宅医療サービス」があります。

1991年に開始した「在宅医療サービス」のひとつである「訪問看護サービス」では、主治医の指示のもと、セコム独自の研修でスキルを向上させた訪問看護師により質の高い看護サービスを提供しています。日本では、超高齢社会の進展などを背景に、在宅医療のニーズがますます高まっていることから、セコムでは「訪問看護サービス」を強化しており、全国31カ所目の訪問看護ステーションを宮城県仙台市に開設しました。

また、もうひとつの「在宅医療サービス」である「薬剤提供サービス」では、在宅療養中の患者様などへ院外処方箋に基づき保険調剤を提供しています。

提携病院と協力して 地域医療に貢献

セコムは、現在全国各地で18の提携病院の運営を支援しています。

また、「セコム在宅総合ケアセンター久我山」を東京都杉並区に開設しました。これは、2012年度の介護保険制度改正で実施される「24時間地域包括ケアシステム」に対応したものであり、セコムは、総合的な「在宅医療サービス」を提供できる体制の構築に取り組んでいます。

さらに、在宅医療を受ける患者様の立場に立った活動も展開しています。大阪府豊中市に開設した「セコム地域医療連携センター」では、患者様やご家族

が入院期間中から在宅療養を体験できます。

シニアレジデンス事業で 中国・上海に進出

セコムは、1996年以来、「サクラピア成城」や「セコムフォート」シリーズなどのシニアレジデンスを運営しています。

このような国内で培ったシニアレジデンスの経営やサービスのノウハウを生かし、海外への展開を計画しており、中国の地元企業と合併会社を設立し、上海で最高級のシニアレジデンス「金色阳光」を建設・運営することとしました。上海は、中国の中でも、特に高齢化率が高い地域です。2015年に運営開始予定の「金色阳光」を皮切りに、インドでは病院運営会社を設立するなど、今後は海外に向けてメディカルサービス事業を展開していきます。

保険サービス

セコムならではの独創的な保険商品の販売が、
着実に伸長しています。



セコム損害保険(株)の本社ビル



「セコム安心マイホーム保険」サポートセンター



「セコム安心マイカー保険」

契約数が増加している

「セコム安心マイホーム保険」

セコムが損害保険事業に進出したのは、犯罪や火災を未然に防ぐセキュリティサービスと、万一被害に遭った場合にその損失を補償する損害保険を組み合わせることで、お客様に対して、より質の高い「安全・安心」を提供できると考えたからです。その考えのもとに、セコムはグループならではの独創的な保険商品を開発・提供しています。

企業向けの「火災保険セキュリティ割引」とご家庭向けの「セコム安心マイホーム保険」は、オンライン・セキュリティシステムを導入しているお客様の場合、火災リスクが軽減されるので、その分の保険料を抑えた保険であり、お客様から高い評価を受け、主力商品の一つとなっています。「セコム安心マイホーム保険」は、2011年1月以降のご契約から、内容を大幅に改定し、お客様がより選択しやすい補償プランをご用意したことで、競争

力が高まりました。さらに、火災リスクが比較的少ない住宅向けに、「オール電化住宅割引」や「耐火性能割引」を充実させたことにより、契約数が増加しています。この2つの保険は、セキュリティサービスの契約をきっかけに加入されるお客様が多いのですが、保険の加入をきっかけにセキュリティサービスの契約をいただくケースも増えており、保険とセキュリティサービスの相乗効果を生み出しています。

加入者が増え続けているがん保険

「自由診療保険メディコム」

「自由診療保険メディコム」は、健康保険が使える保険診療だけではなく、健康保険が使えないため治療費を全額負担する自由診療の場合も、がんの入院治療費の自己負担分を全額補償するがん保険です。この保険に加入することにより、お客様は費用を気にしないで、先進・高度ながん治療を受けることができます。また、がん治療に定評のある医療機関の案内などのサービスもあります。2009年4月には、近年の通院によるがん治療の増加を踏まえて、日数制限なしに、5年ごとに最大1,000万円まで、かかった通院治療費も補償する保険に改定しました。

発売後10年を経た今も、保険診療、自由診療にかかわらず、入院・通院にかかった治療費を日数無制限で補償するがん保険として支持されていますが、これからも地道に保険サービスの使命を追求し、同保険をより多くのお客様に紹介していきます。

セコムだから可能な自動車保険

「セコム安心マイカー保険」

「セコム安心マイカー保険」は、セコムならではのユニークな自動車保険です。この保険の特長は、お客様が事故に遭った際に、24時間365日、お客様の要請に応じて事故現場にセコムの緊急対処員が駆けつけ、お客様をサポートすることです。

「火災保険セキュリティ割引」を除いたこれらの保険商品は、一定の条件が整えばWebサイト上からでも契約手続きができるようになりました。これにより、お客様はオンライン契約等の契約方法も選ぶことができ、選択の幅が広がります。保険申し込みの利便性が向上したことで、より多くのお客様の獲得が期待できます。セコムは、今後もお客様に保険商品のユニークな特長を理解していただくことに努めて、積極的に拡販していきます。

空間情報サービスの提供を通じて、
安心して豊かな社会システムの構築に貢献しています。



パスコの北海道地球局



可搬統合型小型地上システム
(1 / 12スケールモデル)

公共部門と民間部門が堅調に推移

(株)パスコは、航空機を利用した測量や計測で地表データを取得し、そのデータを集積、解析した空間情報サービスを提供しています。2008年からは、商業用で世界最高水準の解像度を持つドイツの人工衛星「TerraSAR-X」の撮影画像も活用しています。パスコの売上は、官公庁向けの行政業務支援を行う公共部門が多くを占めていますが、成長余地の高い市場として民間・海外・衛星部門の伸長にも注力しています。

公共部門では、測量技術も進化させ、現在は道路を車で走りながら計測して高精細な図面をつくるMMS(モバイルマッピングシステム)を採用し、低コストと工期短縮を実現しています。

民間部門では、公共部門で長年育んできた技術とノウハウを活用して、店舗開発や販売促進の戦略立案、最適な配送ルートを選定、災害時の事業継続支援システム、鉄道・道路・電力などの施設管理業務、カーナビ用の地図の作成などのサービスを、民間企業に提供しています。

海外事業が好調

パスコは、海外事業を積極的に拡大しており、現在18カ国に事業拠点を置いています。提供するサービスの中心は、国の発展のためのインフラ事業に欠かせない国土基盤データの整備です。パスコの強みは、撮影からデータの加工、処理、提供までを一貫して行えるところにあります。その強みを生かして、現在インドネシアやフィリピンの国土基本図整備事業を行うなど、開発途上国の発展に貢献しています。最近では、地球温暖化対策の一環として、アフリカ諸国の森林量の計測なども行っています。

衛星事業が拡大

東日本大震災では、合成開口レーダー衛星「TerraSAR-X」の撮影画像を利用して解析した地図情報が、被災地の迅速な状況把握に寄与し、人工衛星の有用性と災害発生時に短時間で広範囲の地形情報を取得する重要性が認識されました。衛星事業では、販売権を持つ15機の人工衛星を今年度中に17機に増やして、サービスを強化していきます。

す。加えて、世界最高レベルの超高解像度を持つ光学衛星「Pleiades」との画像の直接送受信とデータを販売できる権利を、新たに取得しました。この衛星の高い解像度や直接送受信できる利点を生かし、衛星事業を拡大していきます。

また日本では、宇宙システムの開発を低コスト・短期間で実現する「先進的宇宙システム」プロジェクトの一環として、国産の小型地球観測衛星「ASNARO」を、2012年12月に打ち上げる予定です。このプロジェクトの中で、パスコは衛星画像の受信・加工・処理を効率的に行う「可搬統合型小型地上システム」を担当しています。この地上システムは、災害などで通信インフラが寸断された場合でも、車両で被災地に出向き、受信から画像処理までを行うことができます。

不動産開発・販売



入居者のライフステージに合わせた「セコムあんしんライフ制度」を開始

近年、高齢化に伴い、健康や介護への関心が高まっていることに加え、将来一人暮らしになることへの不安を持つ方が増えています。そこで、セコムは“ALL SECOM”の取り組みとして、セコムのオンライン・セキュリティシステムを標準装備したマンション「グローリオ蘆花公園」の入居者を対象に、不動産開発・販売事業とメディカルサービス事業を融合させた「セコムあんしんライフ制度」を開始しました。これは、入居者の高齢化に伴い、マンションでの自立した生活に不安

“ALL SECOM”で安心して暮らせる住まいを提供しています。

を感じたときに、セコムが運営するシニアレジデンスや介護付有料老人ホームへの入居を優先的にご案内するという制度です。

ター用ホバリングスペースなどを備えた高層タワーマンションとして、注目を集めています。

セキュリティと防災に強い「安全・安心」な住まいを提案

セコムは、防災にも強いマンションの提供に力を入れており、2012年9月に竣工予定の「グローリオ越谷ステーションタワー」(埼玉県越谷市)は、防災対策として非常用発電機、防災倉庫、災害用トイレ、AED、ヘリコプ



「グローリオ越谷ステーションタワー」

SECOM Today

情報通信・その他のサービス

独自のノウハウと高度な通信技術で、事業継続計画 (BCP) 対策を推進しています。

「セキュアデータセンター」の利用が急増

セコムは、国内最高水準のセキュリティと堅牢な設備を備えた「セキュアデータセンター」を5カ所保有し、大手金融機関をはじめとする多くのお客様のサーバーやデータをお預かりしています。「セキュアデータセンター」は、ハウジングサービスやホスティングサービスなど、お客様のサーバーやデータなどの情報

資産をお預かりするデータセンターサービスをはじめ、お客様のシステムなどの24時間365日の運用や監視、障害・異常発生時の「初動オペレーションサービス」、そして「セコム安否確認サービス」などセコム独自のサービスを提供するクラウドサービスの拠点として機能しています。

近年は、機密情報や顧客情報の漏えい対策、大規模災害時の事業継続

計画 (BCP) 対策として、より高度なセキュリティを完備したデータセンターが求められています。「セキュアデータセンター」は、東日本大震災の影響を受けることなく、お客様の情報資産を保全したこともあり、BCP対策や停電対策に取り組む企業からの利用申し込みが増加しています。



災害監視センター

グループのノウハウを結集してBCPを支援する「危機管理支援トータルサービス」の提供を開始

今回、「ALL SECOM」の取り組みとして、セキュリティサービス、防災サービス、地理情報サービス、情報通信サービスなどグループ各社の危機管理に関する経営資源を結集し、総合的にBCPを支援する目的で提供を開始したのが、「危機管理支援トータルサービス」です。

具体的には、BCPのポイントとなる事前準備、災害発生、初動、復旧に関するお客様のご要望に対し、グループ各社のサービスやシステムを的確に組み合わせることで、最適なソリューションを提供します。このサービスは、大規模災害対策だけでなく、日常の事故やトラブルからも企業を守り、事業の継続を支援します。

未知のウイルス攻撃から機密情報を守る「セコム・サイバー攻撃対策サービス」の提供を開始

現在、サイバー攻撃は、市販のウイルス対策ソフトでは検知できない未知のウイルスを使って、パソコンやサーバーを乗っ取り、機密情報などを外部に送り出します。

そこでセコムは、これまでの“入口対策”だけでなく、情報を発信する“出口”にもセキュリティ対策を施すことで外部への情報漏えいを防止する「セコム・サイバー攻撃対策サービス」を開発し、提

供を開始しました。このサービスは、未知のウイルス攻撃を防御するだけでなく、お客様のニーズに合わせて通信の監視や現地対応、日常的な監査・安全対策など、セコムならではの総合的なサービスを提供します。

需要が増加している

「セコム・ホームサービス」

セコムは、2005年から「セコム・ホームセキュリティ」のお客様を対象にした生活支援サービス「セコム・ホームサービス」の提供を開始以来、提供するサービスの便利さと質の高さが支持され、年々ご契約数が増えています。そのサービスメニューには、「あんしんサポート」(不在時の家の見回りなど)、「家事サポート」(部屋の清掃など)、「トラブルサポート」(鍵のトラブルなど)があります。また、「セコム・ホームサービスパック」では、お客様のライフスタイルに合わせたサー



ビスを、年間を通じて計画的に提供しています。

住宅リフォーム市場も視野に入れた「生活太助」の提供を開始

セコムと住宅設備機器の大手企業との合併で設立した(株)くらしテルは、「セコム・ホームサービス」が好評なことから、2012年4月に、「セコム・ホームセキュリティ」のお客様以外を対象にした総合生活サービス「生活太助」の提供を開始しました。くらしテルは、「セコム・ホームサービス」と建材・住宅設備ソリューションネットワークのノウハウを総合的に活用しています。「生活太助」は、電話によるお問い合わせに応じて、その解決に最適な会社選定、日時調整、サービス実施までを、一貫して提供します。



生活支援サービス「セコム・ホームサービス」